

地域福祉研究における ソーシャル・キャピタルの考察

日本社会福祉学会第54回大会

立教大学 新座キャンパス

10月7日(土) 地域福祉(N224教室)

13:50~14:15

同志社大学大学院 室田信一(6647)

研究の枠組み

- 問題意識と研究意義
- 研究の概要
- ソーシャル・キャピタルの定義
- ソーシャル・キャピタルに関する先行研究の整理
- ソーシャル・キャピタル研究枠組みの考察
- 地域福祉の概念整理
- 結論と今後の研究への視座

問題意識と研究意義

なぜソーシャルキャピタル研究？

- コミュニティの崩壊と言いう言説を具体化
- 関係資本への着目と数値化
- 他領域の学問との互換性

研究の概要

仮説: 地域福祉研究において
SCは有効な概念である

★	地域福祉研究における SCの考察(有意性)
	地域福祉研究における SC指標の開発
	地域福祉実践における SC指標を用いた調査(指標の有意性)
	地域福祉実践研究における SC培養効果の考察 →SW実践の有効性の検証

SCに関する先行研究の整理(1)

● パットナム

哲学する民主主義 (1993)

孤独なボウリング (2000)

● 内閣府

「ソーシャル・キャピタルー豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」
(2002)

「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究」 (2005)

その他

ブルデュー	コールマン	フランシス・フクヤマ
世界銀行	イギリス政府	NCVO など

SCに関する先行研究の整理(2)

パットナム – 孤独なボウリング (2000)

- ・政治参加
- ・市民参加
- ・宗教参加
- ・労働組合, 専門職組織
- ・インフォーマルな社交
- ・慈善・ボランティア活動
- ・互酬性・信頼
- ・[逆転現象?]小集団, 社会運動, インターネット

豊かな人間関係と
市民活動の好循環

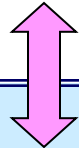
- ・時間・金銭的プレッシャー, 共働き化
- ・郊外化, スプロール
- ・テレビ等の余暇変化
- ・世代変化

- ・児童福祉
- ・近隣地域の安全
- ・経済発展
- ・健康と幸福感
- ・民主主義
- ・自由や平等との両立

限定① 説明変数における限定

ソーシャル・キャピタルの定義(1)

社会を分化させる仕組みとしてのSC



社会における人々の結びつきを強める機能としてのSC

「人々の協調行動を促すことにより、その社会の効率を高める働きをする社会制度」(パットナムの定義)

構成要素

信頼 (trust)

互酬性の規範 (norms of reciprocity)

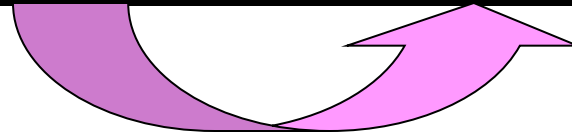
ネットワーク (network of civic engagement)

限定② パットナムの定義を軸としたSCの定義

ソーシャル・キャピタルの定義(2)

結合型・結束型 (bonding) と橋渡し型・接合型 (bridging)

性質	結合型 (例: 民族ネットワーク)	橋渡し型 (例: 環境団体)
形態	フォーマル (例: PTA, 労働組合)	インフォーマル (例: バスケットボールの試合)
程度	厚い (例: 家族の絆)	薄い (例: 知らない人に対する相槌)
志向	内部志向 (例: 商工会議所)	外部志向 (例: 赤十字)



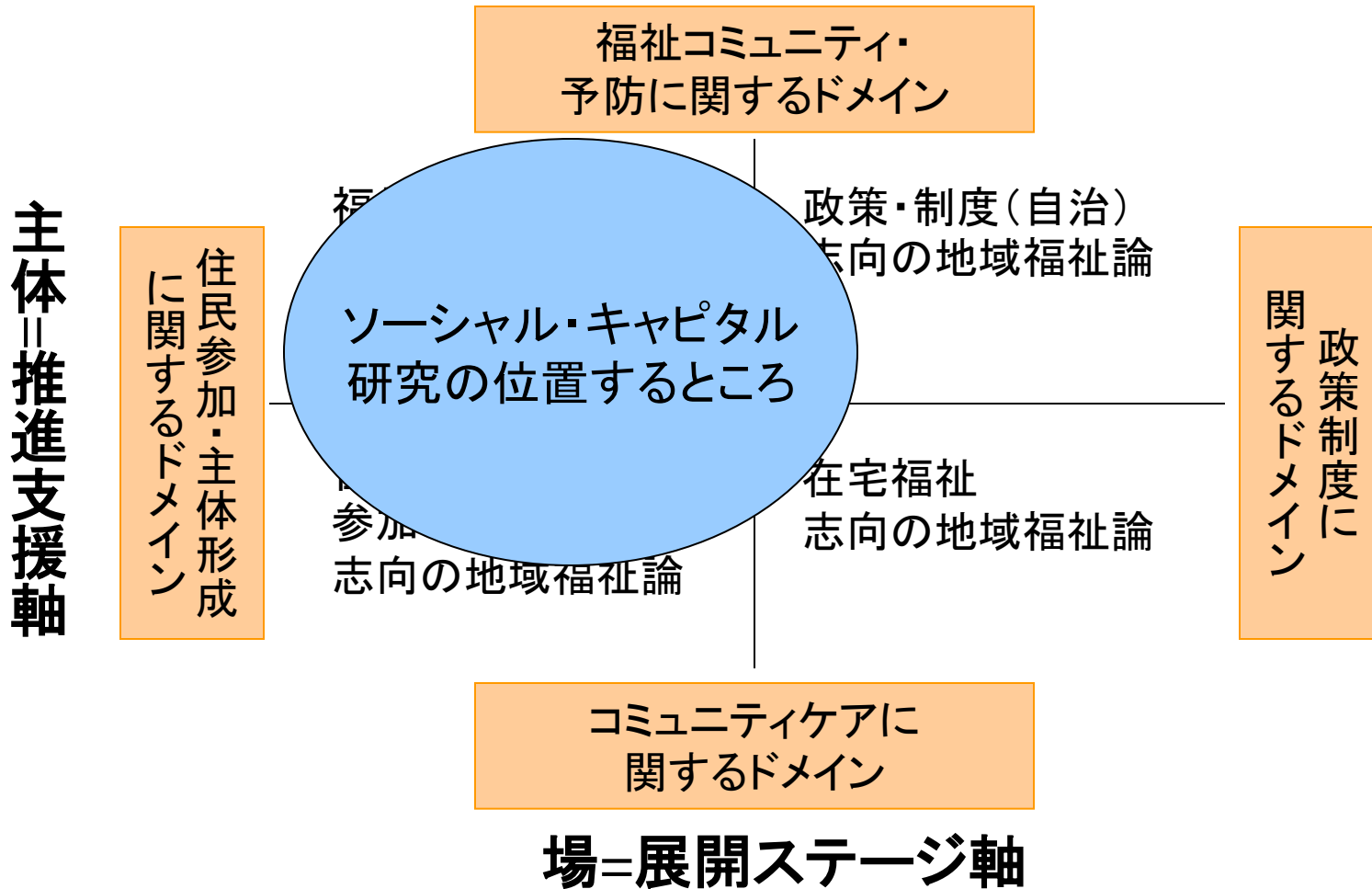
出典: 内閣府(2002)「ソーシャル・キャピタルー豊かな人間関係と市民活動の好循環を求め

SC研究枠組みの考察

社会学 政治学 経済学	SCの概念定義	(ジェイコブス) ブルデュー フクヤマ コールマン パットナム
	SC機能の研究	パットナム 内閣府 NCVO
	SCの質的・量的把握 の研究	パットナム 世界銀行 内閣府
	SC培養のための 制度・政策的提言	パットナム 世界銀行 内閣府
社会福祉学	★ SC培養のための 実践方法論研究	(パットナム) (内閣府) (CB研究(米国))

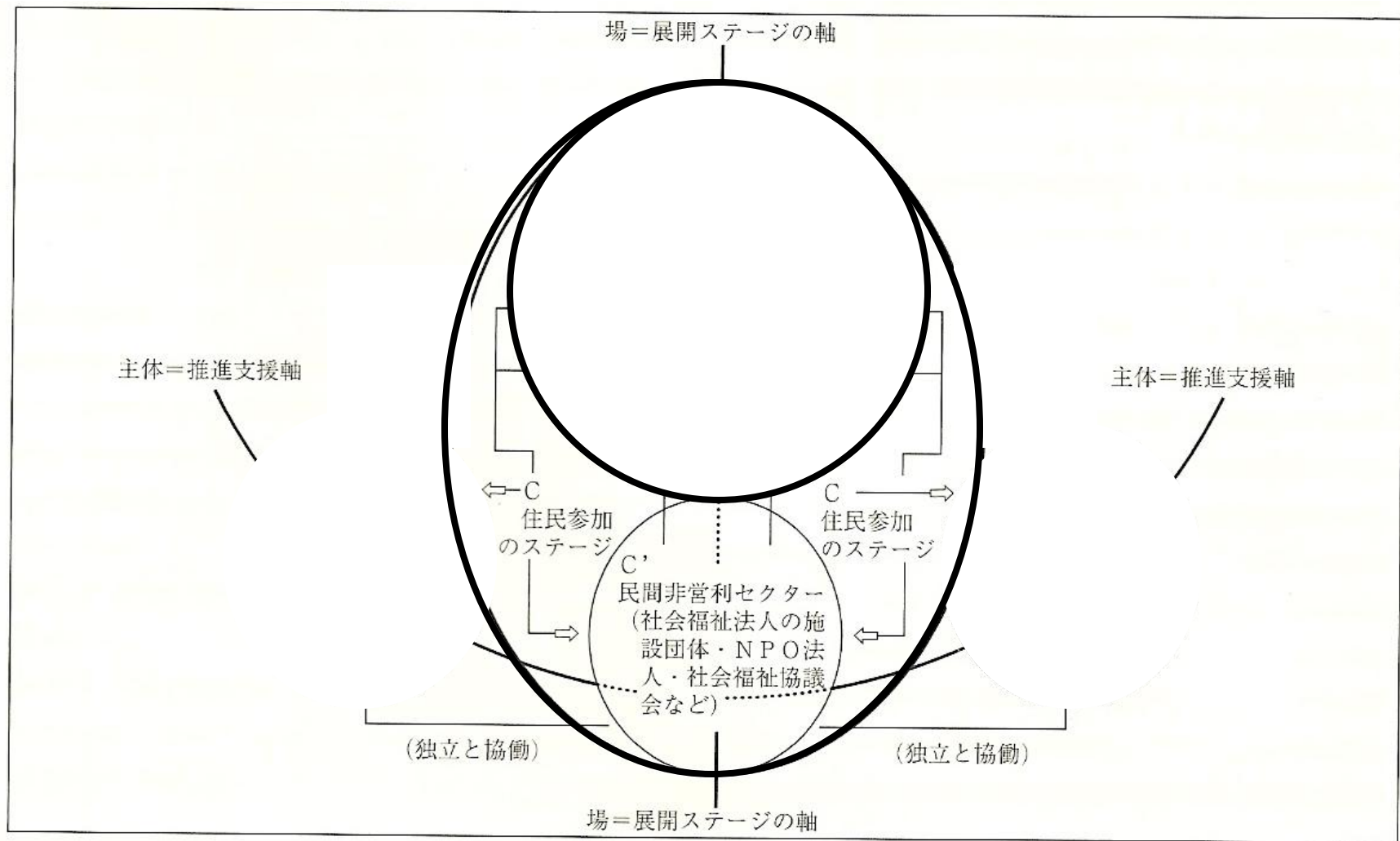
限定③ 研究の範囲を地域福祉の実践に限定

地域福祉の概念整理



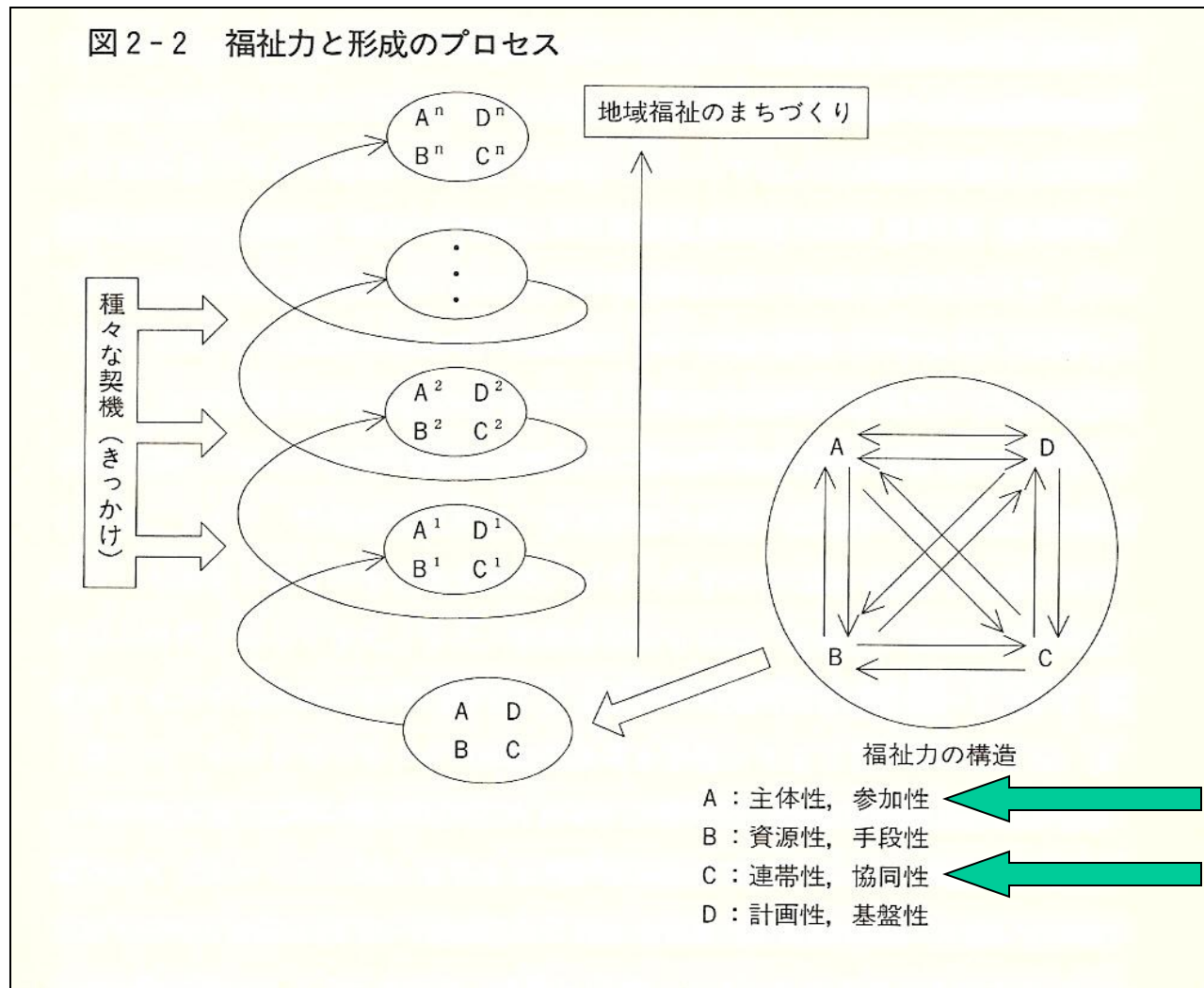
参照:岡本栄一「場-主体の地域福祉論」『地域福祉研究』(2002)

地域福祉の概念整理(なぎさのコミュニティ論)



参照:岡本栄一「場-主体の地域福祉論」『地域福祉研究』(2002)

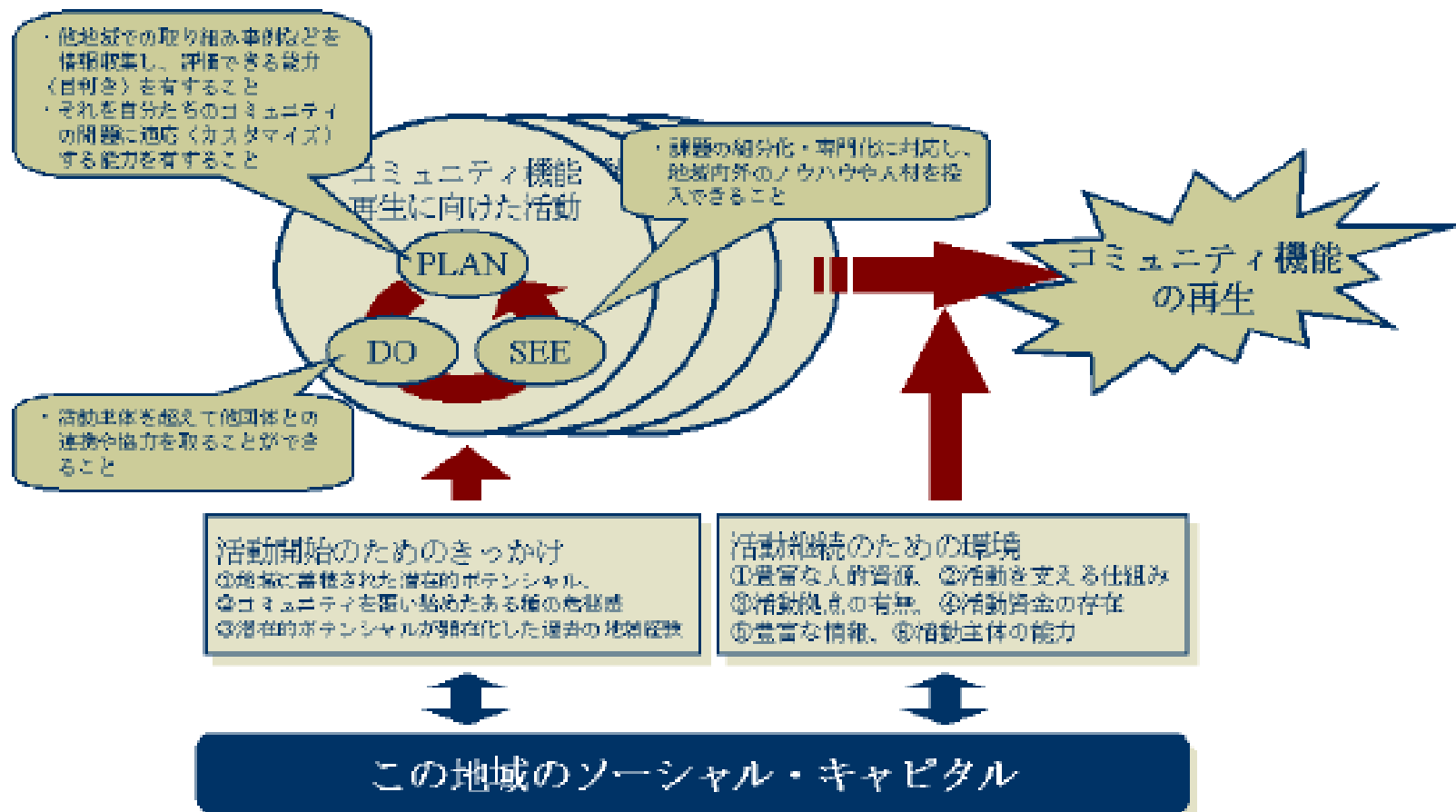
地域福祉の概念整理(地域の福祉力)



参照: 上野谷加代子「地域の福祉力形成」『福祉の地域化と自立支援』(2000)

地域福祉の概念整理（地域の福祉力）

図 3-9 コミュニティ機能再生メカニズムにソーシャル・キャピタル



出典：内閣府(2002)「ソーシャル・キャピタルー豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」P81

結論と今後の研究への視座

結論

地域福祉の領域におけるSCの研究は有意義であるが、SC概念が広域であるため、研究における領域を限定する必要性がある。

(→SCという言葉を使う必要性はあるのか)

限定

- ・ 多様な社会的現象(説明変数)の限定
- ・ SCの定義における限定
- ・ 研究の範囲を地域福祉の実践に限定
- ・ 地域福祉の領域における目的変数の限定→福祉コミュニティの形成

今後の研究への視座

どのような地域福祉実践がSCの培養に最も効果的かの検討

→指標の開発(説明変数と目的変数の明確化)